

一般質問通告書（総括質問・分割質問）

No. 1 / 4

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	明日の向日
表題			
1 アリーナ整備に関する福祉会館前交差点の改良について			
趣旨			
アリーナ開業に間に合うことを目指し、必ず実現してもらうと市長が表明した「福祉会館前交差点と消防署前交差点、絶対にあそこを人が渡るようなことがないよう」な改良は可能か？ また交差点の改良が無いままのアリーナ開業はあるのか？			
事項（質問・提案等）			
<p>向日町競輪場敷地へのアリーナ整備に関して市長は、昨年3月には「福祉会館前交差点と消防署前交差点、絶対にあそこを人が渡るようなことがないようにということは、きっちりと伝えていきたい。」「福祉会館前の交差点は、かなり厳しい状況になると思いますので、それは改良及び歩行者のルートも含めまして、必ずやっていかなければならないなと思ってます。」と述べていました。</p> <p>9月の第3回定例会の一般質問で、私が「全くそうなっていません」と指摘したことに対して、市長は「私が必ずやってもらうと言いましたことについては、アリーナの開業に間に合うことを目指し、必ず実現してもらいますし、もちろん引き続き強く要望しますのでご心配には及びません。」と明言されました。そこで質問します。</p>			
<p>（1）本当に可能か？</p> <p>あの交差点周辺は、今までは、アリーナ開業時に来場者が歩道に溢れて車道にもはみ出すなど、危険きわまりない状態になります。交差点に溢れる人々が危険だし、交通渋滞に拍車をかけます。福祉会館前交差点と消防署前交差点の改良は超重要な課題です。</p> <p>一方で、あの交差点を歩いて渡らないようにする改良とは、具体的にどのような構造なのか。それは果たして可能なのか。</p>			
<p>（2）交差点の改良が無いままのアリーナ開業はあるのか？</p> <p>市長は「必ずやってもらわなければならない。」と明言しました。この改良が実現せず、交差点周辺の危険が解消されない今までのアリーナ開業は認められないと思いますが、市長の考えはどうですか。</p>			

一般質問通告書（総括質問・分割質問）

No. 2 / 4

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	明日の向日
表題 2 不登校のこども、保護者への支援について			
趣旨	国の調査結果によると、令和6年度の小・中学校の不登校児童生徒数が引き続き増加し、過去最多を更新しました。すべてのこどもたちの育ちと学びを保障するため、教育行政による不登校のこどもたちと保護者への支援強化について伺う。		
事項（質問・提案等）	<p>（1）不登校の現状について</p> <p>①不登校の児童生徒（年間30日以上欠席）は、全国で35.4万人、小学生の2.2%、中学生の6.8%にあたる。そのうち半数以上の19.2万人が年間90日以上、すなわち登校日数のうち約半分またはそれ以上欠席しています。 向日市では、年間30日以上、90日以上不登校の児童生徒は、それぞれ何人か。</p> <p>②学校や所属する学級に来れない児童生徒が利用している施設について</p> <p>a. 出席日数にカウントされる施設について</p> <ul style="list-style-type: none">ひまわり広場を利用している小学生、中学生の実人数と1日平均利用人数は？校内教育支援センター（通称：別室）を利用している小学生、中学生の実人数と1日平均利用人数は？向日市の認定しているフリースクールの数令和7年度に利用実績のあるフリースクールの数、利用している小学生、中学生の実人数と1日平均利用人数その他の利用施設はありますか？ <p>b. 不登校児童生徒のうち、これらの施設を利用していない人数は？</p> <p>③不登校の相談機関・専門支援機関について</p> <ul style="list-style-type: none">不登校の子どもや保護者は、どのような相談・支援機関から専門的な相談・支援を受けていますか。相談・支援を受けている子ども・保護者の実人数は？ <p>（2）不登校の当事者・関係者（子ども・保護者・支援者）からの要望について</p> <p>①校内教育支援センター（別室）を、すべての中学校で継続強化する見通しについて 別室による支援の継続強化を求める声が大きいが、今後についての考えを聞きます。 勝山中学校区の1中学校、2小学校への京都府からの教員加配が今年度で終了しますが、京都府からの支援継続の有無にかかわらず、別室の運営を継続発展できる人的な</p>		

一般質問通告書（総括質問・分割質問）

No. 3 / 4

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	明日の向日
表題			
2 不登校のこども・保護者への支援について			

事項（質問・提案等）

体制を向日市として保障するべきではないでしょうか。

②ひまわり広場の拡充について

今年度より広い場所に代わって、利用が増えたと聞く。平日午前のみ開室ですが、午後開室も求める声は以前から強いが実現していません。

- ・午後の開室が困難な最大の理由は何か。
- ・午後利用のニーズ調査はしたのか。
- ・継続して支援できる常勤の専門家を確保・配置することについて

③保護者・子どもへの積極的な情報提供について

個別に丁寧な相談支援に努めて頂いていることは理解しますが、保護者や子どもたちが自ら情報を得て、様々な支援の機会にアクセスできるよう、積極的な情報の提供を行うことが求められています。検討状況はどうでしょうか？

④ネット出席制度について

保護者が制度の利用を希望した場合、向日市では対応可能か？

（3）不登校の子どもの、中学卒業後の支援について

中学卒業後、高校進学が出来なかった、あるいは入学したものの中退学した生徒への、向日市行政としての支援の現状について

（4）教育支援センターの施設を整備することについて

向日市は不登校の保護者への相談支援などを行い、教育支援センターの機能を果たしていると言いますが、子どもたちが利用する教室（ひまわり広場）以外の施設がありません。教育支援センターの施設を整備して専任の人員を配置し、多様な取り組み（当事者への個別相談、カウンセリングの他、研修、情報提供、保護者会、茶話会、学習会等々）を行えるようにすべきではないでしょうか。

例えば、新寺戸公民館開設後の現寺戸公民館の活用は、検討できないでしょうか。

一般質問通告書（総括質問・分割質問）

No. 4 / 4

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	明日の向日
表題			
3 古紙類の回収率向上にむけた取り組みについて			
趣旨 向日市は、近年古紙類の資源回収に積極的に取り組み、徐々に成果を上げてきています。市民の要望に更に応えるための次のステップについて伺う。			
事項（質問・提案等） 向日市は、令和元年に「廃棄物減量等推進審議会」を立ち上げ、ごみ減量にむけた取り組みを積極的に進めてきました。古紙類については、かつては民間業者にお任せ状態でしたが、令和2年度に市役所敷地内の資源物回収ステーションで古紙の拠点回収を始めたのを皮切りに、令和4年度には上植野浄水場に拠点回収施設を設置するとともに、自治会等地域団体による集団回収への助成事業開始し、徐々に成果を上げてきています。 (1) 古紙類の資源回収の現状評価について ①令和6年度までの古紙類の資源回収実績、回収率についてどう評価していますか。 ②令和7年度の現時点での状況と評価について (2) 次のステップについての考え方聞く 市民の要望に応え、古紙を出しやすい環境整備が、回収率の向上につながると考えます。集団回収への参加はまだ十分でなく、遠く離れた拠点回収施設に出せない市民への施策が必要だと考えます。今後の施策について伺います。以下のような方策が考えられますが、いかがでしょうか。 ①集団回収箇所マップを作成し、市民に周知する。集団回収に参加している団体にとっても、助成金のメリットが大きい。 ②月2回の分別ステーション（すべてでなく一部でも）に、古紙類の分別ボックスを設置する。そのため協力頂ける箇所には助成する制度も検討する。			